

2. 市民会議の活動概要

(1) 開催経過

2007 年度

市民会議では、毎月の定例会として全体会議を開催してきました。

第1回～第3回にかけては、運営ルールの検討、年間活動イメージの検討など、基本的な進め方について共有を進めました。また、全体会議とは別に財政状況、行政改革、都市計画などの勉強会を開催しました。第4回では、アドバイザーの阿部昌樹さん（大阪市立大学大学院教授）をお迎えし、「総合計画の果たす役割と市民会議に期待すること」と題して、地方自治の現在、総合計画の歴史と現在、箕面市民会議に期待するものについてご講演いただきました。

第5回～第6回にかけては、第四次総合計画の検証を行い、それを踏まえて、第7回「今後の10年間の箕面市は何に力を入れて取り組むべきか！」において、ワークショップ形式で様々な意見を出し合いました。それをもとに、第8回で分科会について検討し、6つの分科会を置くことになりました。10月以降は、全体会議と分科会活動を並行して行いました。分科会では、関連する市内の団体との意見交流などを行い、課題整理や提案の検討などに取り組みました。2007年度中の全体会議の開催回数は14回、分科会の開催回数は6分科会あわせて77回となりました。

2008年3月には、市内4ヶ所で「市民と市民会議との意見交流会」を開催し、それまでの検討成果の報告を行うとともに、参加者との活発な意見交流を行いました。

運営面については、市民会議を市民の自主的な活動として運営していくため、「運営委員会企画会議」が開催され、「世話人会」を置くこととなりました。市民会議メンバー有志による「世話人会」では、会則、事業計画、予算などの案を作成するとともに、全体会議の企画・運営、意見交流会の企画などに取り組みました。世話人会は2007年度には9回開催されました。また、分科会間の連絡・調整を行う、分科会リーダーによる「リーダー会議」は、2007年度には5回開催されました。

全体会議の開催経過（2007年度）

開催経過	開催日時
第1回「オープニング！」	2007年6月28日(木)
第2回「総合計画学習会&運営ルールの検討」	2007年7月24日(火)
第3回「運営ルールの決定&年間活動イメージの検討」	2007年8月8日(水)
第4回「講演会&年間活動イメージの検討(2)」	2007年8月22日(水)
第5回「第四次総合計画を検証しよう！」	2007年9月4日(火)
第6回「第四次総合計画を検証しよう!(2)」	2007年9月26日(水)
第7回「今後10年間の箕面市は何に力を入れて取り組むべきか！」	2007年10月5日(金)
第8回「分科会を作ろう&運営委員会の設立に向けて」	2007年10月18日(木)
第9回「分科会の活動状況を共有しよう！」	2007年11月28日(水)
第10回「中間報告のイメージを検討しよう！」	2007年12月20日(木)
第11回「意見交流会に向けて検討状況を共有しよう！」	2008年1月23日(水)
第12回「意見交流会での発表内容の組立を共有しよう！」	2008年2月21日(木)
第13回「より良い意見交流に向けてのリハーサル！」	2008年3月13日(木)
市民と市民会議との意見交流会	2008年3月22日(土) 3月23日(日)
第14回「平成20年度に向けて！」	2008年3月26日(水)

2008 年度

前年度に引き続き、2008 年度も毎月の定例会として全体会議を開催しました。

第 15 回においては、9 月末の提言書のとりまとめに向けて、提言書の構成や提言書作成プロセスのイメージについて共有するとともに、次期総合計画の基本構想に相当する部分の提言のたたき台を作成する「検討チーム」が世話人から提案されました。また、基本計画相当部分については、意見交流会での報告内容をもとに、6 つの分科会が提言内容を深めていくこととなりました。

第 16 回～第 18 回にかけては、検討チームや分科会から、会議開催時点での「提言書（案）」の報告があり、提言内容についての共有を図るとともに、より良い提言としていくために活発な意見交換が行われました。第 16 回及び第 18 回の全体会議には、アドバイザーの阿部昌樹さん（大阪市立大学大学院教授）をお迎えし、提言内容の体系的な整理（ツリー化）などについてご助言をいただきました。また、分科会間で提言内容を共有・調整するための会議を 5 回開催しました。

8 月 8 日には、東海市まちづくり市民委員会のかた（2 人）をお招きし、東海市における活動の詳細をお聞かせいただくとともに、市民と行政との協働によりまちづくりを進めていくための方策について意見交換が行われました。

第 19 回では、「提言書（案）」のほぼ完成版が報告され、8 月下旬から 9 月上旬にかけて、より多くの市民のみなさんの意見を提言に取り入れるためのパブリックコメントを行いました。また、9 月 6 日には、グリーンホールで「市民と市民会議との意見交流会」を開催し、提言書（案）についての説明を行うとともに、参加者との活発な意見交流を行いました。

市民から寄せられた数多くの貴重なご意見の一つ一つを丁寧に検討し、提言書の最後の仕上げを行い、第 20 回「箕面市民会議フィナーレ！」において、市長に提言書を提出しました。

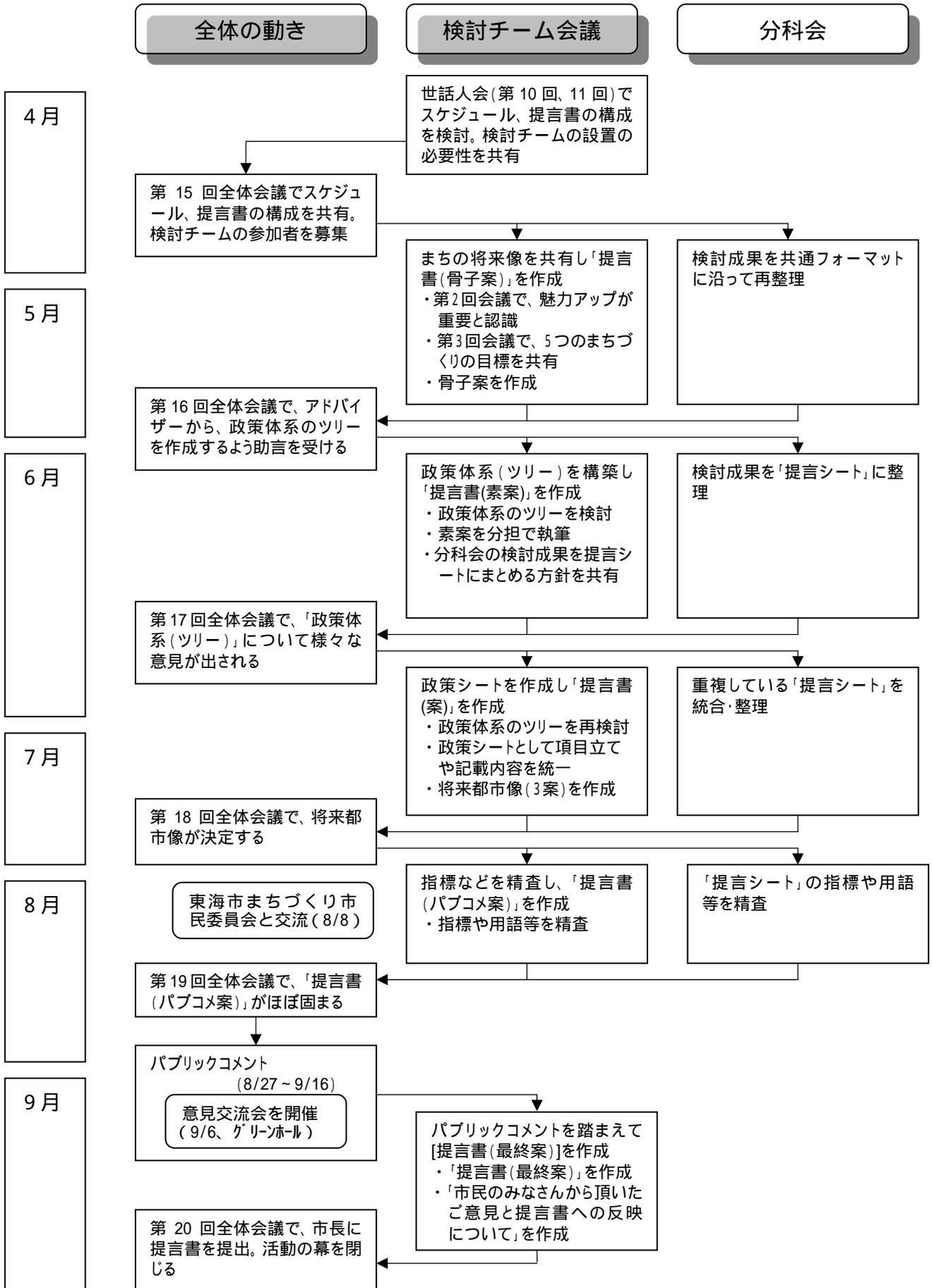
また、総合計画策定委員会、総合計画審議会に、市民会議から代表者を 2 人ずつ出すことから、審議会答申にいたるまでの間、代表者をサポートする活動を継続することについて世話人会から提案があり、了承されました。最後に、参加者や事務局など、市民会議の活動にかかわったすべての人が、これまでの活動を振り返って一人ひとり想いを述べて、1 年 4 カ月にわたる活動の幕を閉じました。

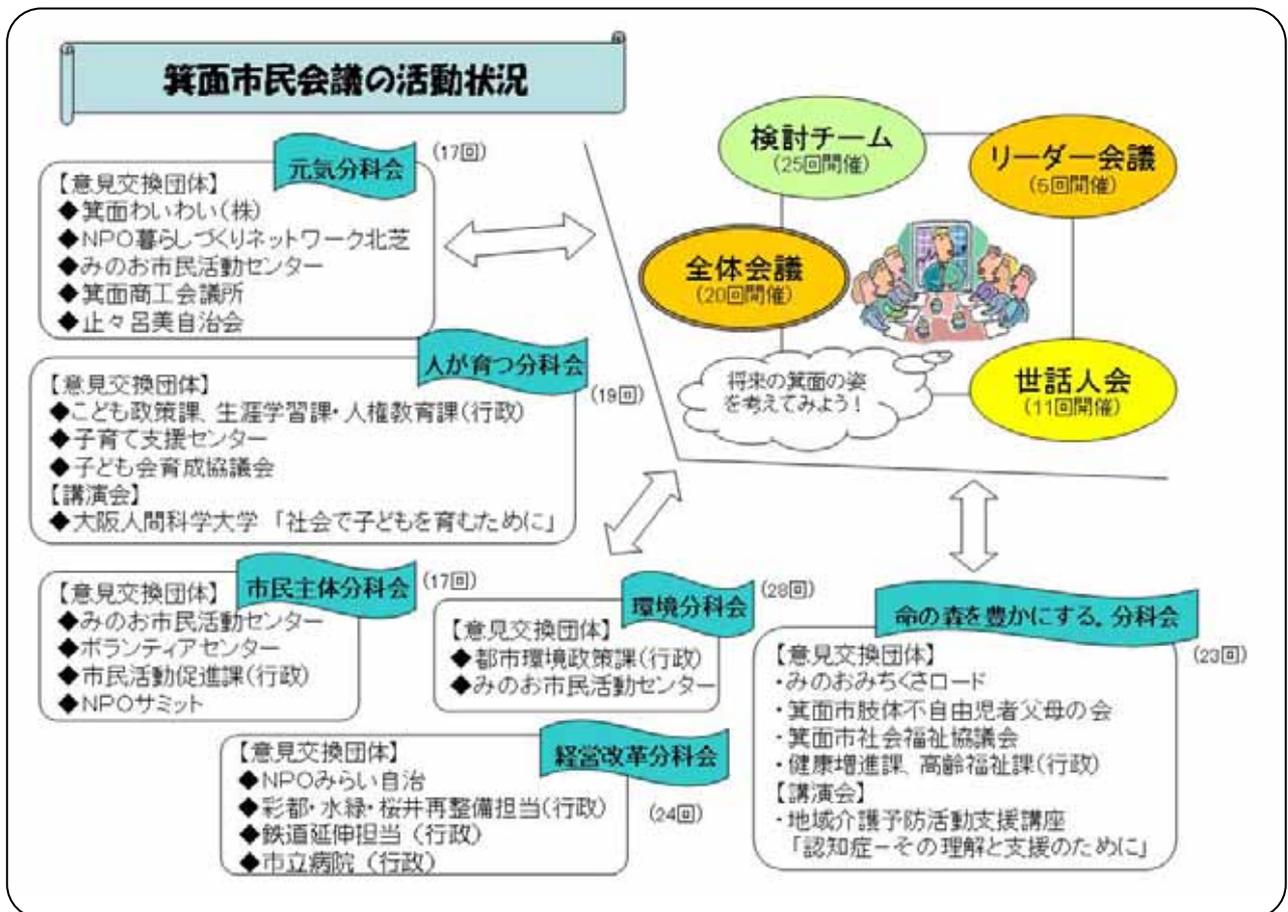
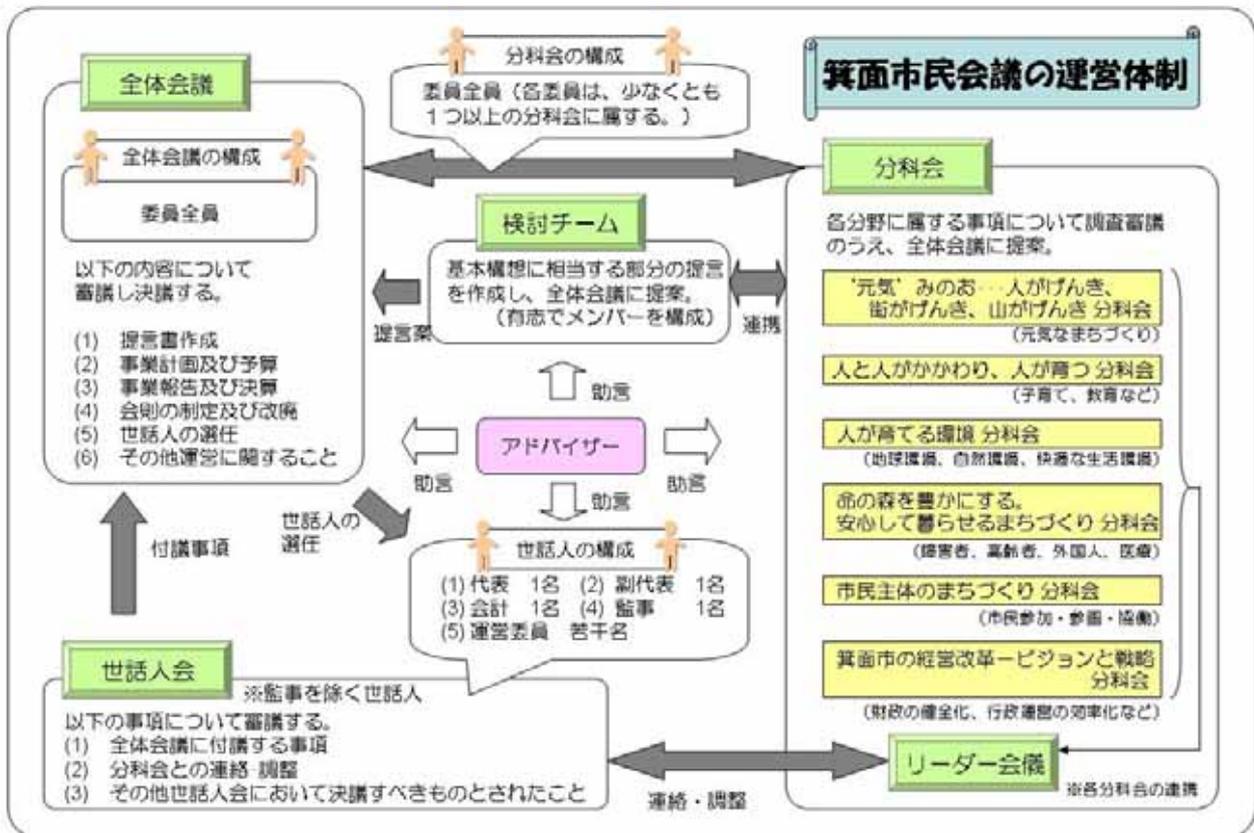
2008 年度の全体会議の開催回数は 6 回、分科会の開催回数は 6 分科会あわせて 51 回、検討チーム会議の開催回数は 25 回となりました。運営面については、4 月に世話人会を 2 回開催し、それ以降については、検討チーム会議において全体会の企画などを行いました。

全体会議の開催経過（2008 年度）

開催経過	開催日時
第 15 回「提言書の構成と 20 年度のスケジュールを固めよう！」	2008 年 4 月 17 日（木）
第 16 回「提言書の主要事項（素案）を共有しよう！」	2008 年 5 月 28 日（水）
第 17 回「提言書『素案』の仕上げに向けて！」	2008 年 6 月 19 日（木）
第 18 回「提言書（案）のほぼ完成！」	2008 年 7 月 23 日（水）
東海市まちづくり市民委員会との交流会	2008 年 8 月 8 日（金）
第 19 回「市民との意見交流で最後の仕上げを！」	2008 年 8 月 21 日（木）
市民と市民会議との意見交流会	2008 年 9 月 6 日（土）
第 20 回「箕面市民会議 フィナーレ！」	2008 年 9 月 24 日（水）

2008年度の検討の流れ





(2) 全体会議の開催概要

第1回「オープニング！」

市民会議の開催にあたって、市長からあいさつがあり、「市民会議では、市民のみなさんと行政職員が一緒になって、これからの箕面の青写真づくりをしていただきたい」、「箕面市ならではのまちづくりを我々はつくりあげる必要がある」などのお話がありました。

また、事務局から市民会議の活動について、「市民会議には、総合計画の土台となる基本構想について提案をいただきたい」、「箕面に住み続けたいと思えるまちになるために、何年後の箕面のまちの将来像を描いてほしい」、「可能であれば、具体的な目標数値を提案してほしい」などの説明がありました。

続いて、参加者の自己紹介を行いました。また、プロフィール集が配布されました。

その後、当面の進め方について意見交換を行い、「参加者相互が知り合う機会を設けて」、「総合計画や市政を勉強する機会が必要」、「資料の事前送付を」、「欠席者が意見を言えるように」などの提案をいただきました。

第2回の開催日程について調整を行い、第1回の全体会議は閉会しました。



第2回「総合計画学習会&運営ルールの検討」

第1回目のふりかえりを行った後、市制50周年の際に作成されたビデオを見ました。また、事務局から総合計画に基づくまちづくりの歩みについて説明がありました。また、財政状況、行政改革、都市計画などの勉強会の開催案内がありました。

その後、4つのグループに分かれて、市民会議の運営ルールを検討しました。各グループからの発表を受けて、全体で共有できることを暫定ルールとして共有しました。文案については、事務局で整理を行い、第3回の市民会議で確定させることになりました。

[暫定ルールとして共有されたこと]



(日程調整のルール)

- ・年間の予定を年度当初に決める。
- ・昼と夜を組み合わせるなど工夫をする。

(会議の基本ルール)

- ・市民と行政との協働で運営する。
- ・会議の開始・終了時間を明らかにする。

(会議の公開ルール)

- ・傍聴についてのルールは引き続き協議する。
- ・個人情報の取扱いについてルール化する。
- ・分科会の会議録は出席メンバーで作成する。

(発言のルール)

- ・発言が長くならないよう互いに気をつける。

(合意形成のルール)

- ・まずは議論を尽くすという姿勢をもつ。
- ・いきなり多数決で決めるようなことはしない。

学ぼう！箕面市のこと

～箕面市は今、どんな状況なの？何をめざして、どんなことをしているんだろう？～

次期総合計画策定のための提言に向けて、必要なことをみんなで学ぶ勉強会を開きます。同日の昼・夜の講座内容は同一の内容となっておりますので、ご希望の時間にお越し下さい。
※8月7日の昼については、職員会館駐車場の使用ができませんので、市役所駐車場をご利用下さい。

【7月30日(月曜日)】
～テーマ～
●箕面市の財政状況と行政改革
・財政状況の説明
・行政改革の取り組み
【昼】14:00～16:00
職員会館2階 集会室
【夜】18:30～20:30
職員会館2階 集会室





【7月31日(火曜日)】
～テーマ～
●第4次総合計画策定のプロセス
・策定の流れ
・まちづくり採録の成果と課題
●次期総合計画策定に向けて
・市長からのメッセージ
【昼】14:00～16:00
グリーンホール2階 会議室Ⅱ
【夜】18:30～20:30
職員会館2階 集会室

【8月7日(火曜日)】
～テーマ～
●箕面市における市民協働の状況
・協働の仕組み
・協働事例の紹介
●箕面市の都市計画
・ハードからみた箕面のまちづくり
【昼】14:00～16:00
職員会館2階 集会室
【夜】18:30～20:30
職員会館2階 集会室



【お問い合わせ】
箕面市役所 市長公室 政策企画課
TEL: 072-724-4718
FAX: 072-723-2096
Mail: seisaku@maple.city.minoh.lg.jp

第3回「運営ルールの決定＆年間活動イメージの検討」

第2回での検討内容をもとにした運営ルール(案)について、進行役から説明があり、意見交換の結果、おおむねの項目について、運営ルール(案)が承認されました。市民会議への途中参加、傍聴、合意形成の3点のルールについては、事務局が修正案を作成し、引き続きルールを検討することとなりました。

続いて、市民会議の活動イメージを共有するため、豊中市、日野市、那覇市における市民会議の事例について進行役から説明がありました。他都市事例などを踏まえて、全体での意見交換を行った後、4つのグループに分かれて、市民会議の年間活動イメージを検討しました。全体での意見交換を行い、「市民会議の提言が総合計画に反映されることが大切」、「市民会議のメンバーが行政に質問したことについて、質問と回答を共有できるようにしてほしい」、「第四次総合計画の進捗状況を知ることが必要」など、活発に意見が出されました。

グループ討議の時間が十分にとれなかったため、8月22日の講演会終了後に引き続きグループ討議と発表・意見交換を行うこととなりました。



第4回「講演会&年間イメージの検討(2)」

市民会議のアドバイザーである阿部昌樹さんから、「総合計画の果たす役割と市民会議に期待すること」と題して、地方自治の現在、総合計画の歴史と現在、箕面市民会議に期待するものについてご講演いただきました。

説得力のある提言とは、「箕面市の現状と予想される近未来の状況を十分に踏まえた、実現性の高い提言であること」、「多くの市民の賛同が得られる提言であること」、「内的に整合的な提言であること」といったお話がありました。



ご講演の後、第3回と同様のグループに分かれて、年間活動イメージの検討を行い、その後



発表と意見交換を行いました。意見交換では、「大事なことに絞り込んで提言するという方向性と、あらゆる分野を網羅し、総合計画の市民案をつくる方向性の2つがある」、「次の総合計画を考える前に、第四次総合計画でできたことやできなかったことの課題を明確にすることが必要」、「提言書のイメージについて共有できていないことが多い」、「今、何が課題かということについて行政から情報提供してもらい全体会議で早めに共有したい」などの意見が出されました。

い」などの意見が出されました。

意見交換を重ねた結果、「全体会議において、第四次総合計画の検証(進捗状況、課題など)今後の社会経済情勢の見通し、提言書のイメージなどについて共有理解を深めたうえで、テーマ別分科会の活動を行う」、「第四次総合計画の検証の方法として、「第3期実施計画」をベースにして、質問・意見を出し合う」といった進め方が共有されました。

終わりに、アドバイザーの阿部さんから「現在の総合計画を検証することは大事なこと」、「なぜ、実現できなかったのかということを中心にみていくことにより過去から学ぶことができる」といった助言をいただきました。

第5回「第四次総合計画を検証しよう！」

第2回、第3回における検討を踏まえた運営ルールの修正案が進行役から示され、それを市民会議の運営ルールとすることが決定されました。

その後、第4回での検討を踏まえて、「第四次総合計画の検証の進め方」として、事務局から複数の方法が提案されました。全体で意見交換を行い、「第四次総合計画の政策がどれだけ進み、あと3年でどこまでできるのかを知りたい」、「3つのリーディングプランの状況を知りたい」、「計画されたことのうち、できないことについてその理由を知りたい」などの意見が出され、第5回と第6回の2回



にわたって、第四次総合計画の検証活動として、進捗状況や課題について事務局が説明を行うこととなりました。

休憩をはさんで、第3期実施計画に沿って、26政策の成果や課題を説明していくという検証方針に沿って、「政策1 健康づくりと地域医療」から「政策4 障害福祉の充実」について、事務局から説明がありました。

意見交換や質疑では「リーディングプランに位置づけられているのに、子育ての市民満足度はなぜ低いのか」、「成果指標の一部は市民感覚とずれているのではないか」、「これまでしてきたことの説明でなく、今後10年間で、それぞれの分野で何が問題になるのかを説明して欲しい」などの意見が出されました。

第6回「第四次総合計画を検証しよう！（2）」

事務局から作成資料の概要についての説明があり、予定通り作成した資料を説明するのがよいのか、それとも、資料については各自で読んでいただくこととし説明しないこととするのか、など説明の進め方について全体で意見交換を行い、作成資料について、事務局が説明を行うこととなりました。

質疑応答の後、今後の進め方についての問題提起があったことから、今後の進め方について、全体で意見交換を行いました。意見交換では、「細かい内容について市民会議と行政とのやりとりを続けるだけでは不十分で大所高所からの検討が必要」という意見が出される一方で、「市民の経験に基づいた細かい生活の一つ一つのひだにふれていかないと市民会議の提案にならないのでは」と、細かなことからの点検の必要性についての意見が出されました。また、「第3期実施計画についての質問・意見提出シート」に対する行政からの回答の中には不適切な回答がみられるなどの発言に対しては、進行役から「書面でのやりとりだけでは、質問の意図・背景が分かりにくいいため、十分な資料が作成しにくい。もう少し小さな場で直接やりとりをすれば必要な情報が出てくるのではないか」などの補足説明があり、分科会の設置について意見交換を続けました。

分科会の設置については、「まちの全体像についてのイメージを統一してから、分科会に分かれることが必要」などの意見もあり、次回の第7回全体会議で、フリートークで箕面市の今後10年間の課題について話し合い、それを全体で共有することにより、大きな柱やキーワードを見出していくこととなりました。また、それをもとに分科会の分け方を考えていくこととなりました。



第7回「今後10年間の箕面市は何に力を入れて取り組むべきか！」

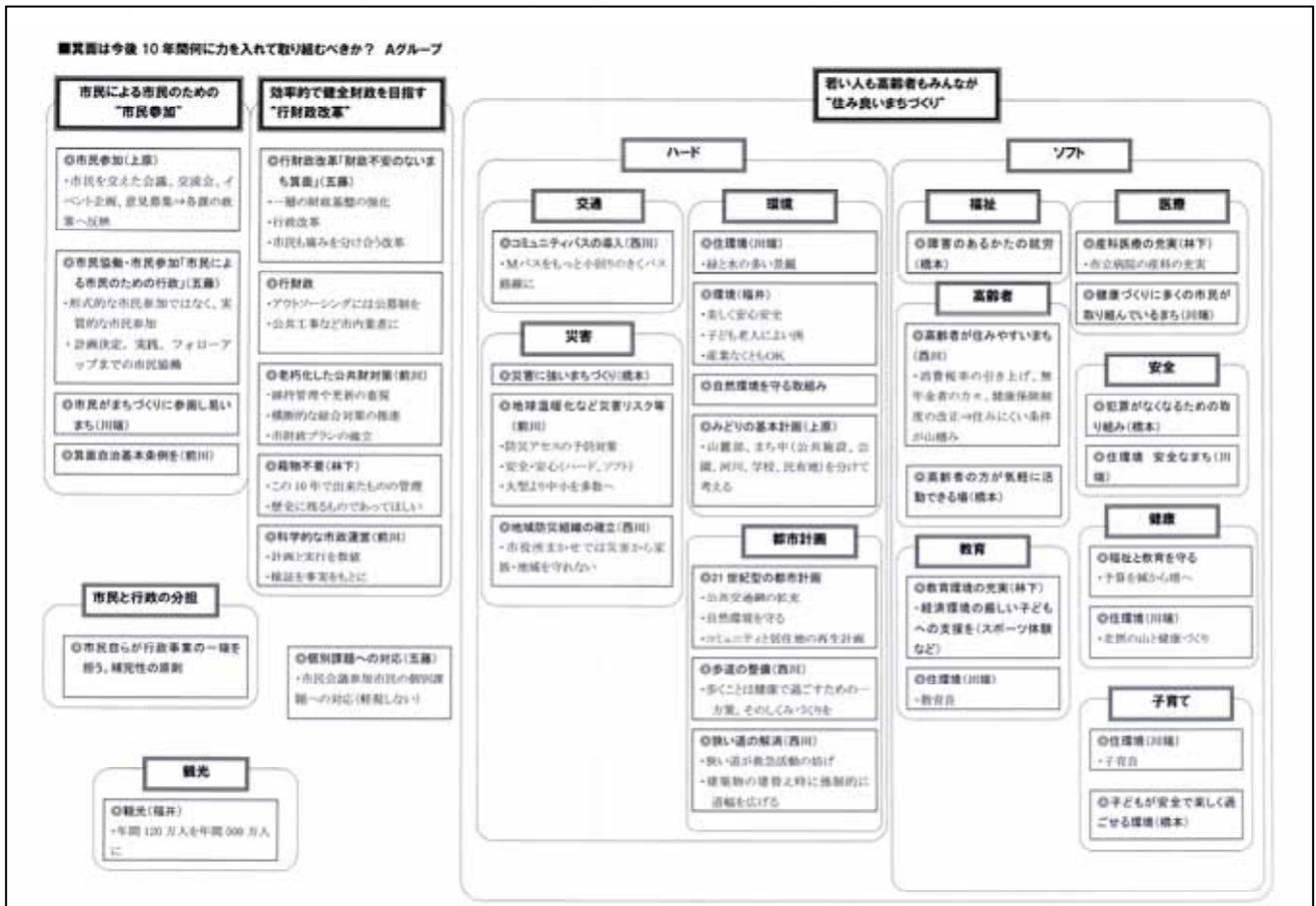
進行役から、「今後10年間、箕面市が力を入れて取り組むべきこと」の検討方法について説明がありました。意見交換の結果、進行役から説明のあった検討方法で、4つのグループに分かれて議論をすることになりました。

4つのグループから検討成果についての発表があり、それを受けて全体で意見交換を行いました。意見交換を通じて、「人が集まる、誇らしい、箕面としての魅力を高めていく」、「暮らしよい、住みよい」、「環境」、「市民参加」、「行財政改革」などいくつかの大きな柱が見出されました。また、箕面がめざす姿を描いた上で、それを実現していくために、市民会議がコーディネーターとして、取組を動かしていくようなイメージが見出されました。行政も市民も、戦略的な取組を進めるための新しい方法を今後検討していくことが必要とされました。



今後の進め方として、全体会議で共有された大きなまちづくりの方向性を踏まえて、具体論を掘り下げていく議論の場として、分科会の編成にとりかかることとなりました。そして、全体会議の場では、分科会での議論の内容をキャッチボールしながら、それぞれの検討を深めていくこととなりました。また、運営委員会の役割や規約案などを検討する「運営委員会企画会議」についての説明が事務局からあり、参加者の募集がありました。

[Aグループの発表内容]



第8回「分科会を作ろう&運営委員会の設立に向けて」

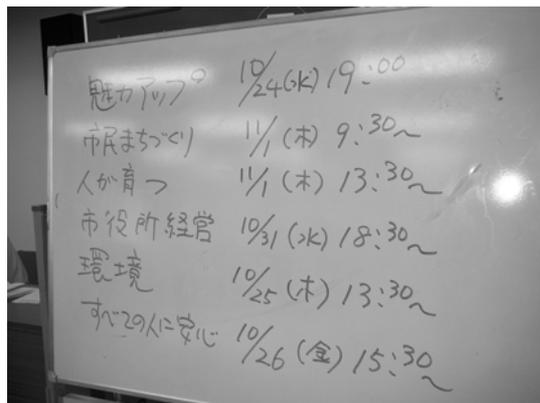
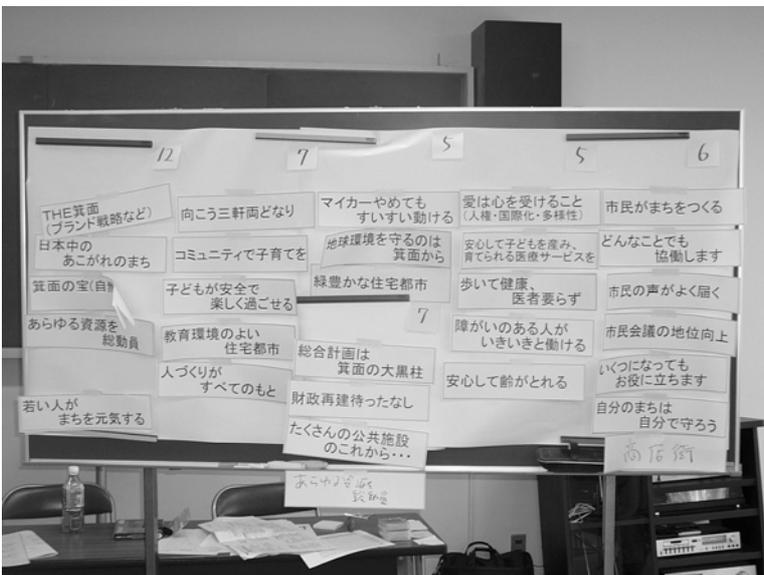
進行役から、第7回市民会議において「今後10年間、箕面市が力を入れて取り組むべきこと」として4グループから発表のあった内容を、市民会議全体としての関心事項を明らかにするために再整理した結果、大きな柱として右記の6つのテーマが浮かび上がってきたことについて説明がありました。進行役からの説明を受けて、分科会の分け方について全体で意見交換を行い、6つのテーマごとに分科会を設置することとなりました。また、複数の分科会に参加できることを確認しました。

[6つのテーマ]

- 『箕面の魅力UPで憧れのまちに』
- 『人と人が関わり、人が育つ』
- 『環境を大切に暮らす』
- 『すべての人に安心を』
- 『市民がまちづくりの主人公』
- 『市役所にもっと経営感覚を』

出席者それぞれが希望する分科会を表明した後、進行役から、各分科会において、リーダー・サブリーダーの選任、分科会の活動の進め方（学習、現地調査、市民意見の集約など）提言書のイメージについて検討し、第9回全体会議で報告いただきたいとの説明がありました。その後、分科会ごとに第1回の分科会の日程調整をしました。

続いて、事務局から、10月12日の運営委員会企画会議で検討された会則（案）事業計画（案）などの報告がありました。意見交換の後、全体会議としてのおおむねの承認がされ、詳細については世話人会（運営委員会）に一任すること、世話人会が会則、事業計画、予算を作成し、市に補助金申請をすること、第9回全体会議で結果を報告すること、という流れについて共有されました。



第9回「分科会の活動状況を共有しよう！」

世話人が決まり、代表の本多さんから世話人の紹介がありました。次いで、「箕面市民会議会則」、「事業計画」、「歳入歳出予算」、「市民会議の予算・支出の管理、執行のルール」について世話人から説明があり、拍手をもって了承されました。また、第9回以降、全体会議の進行は世話人がすることになりました。

その後、6つの分科会から、これまでの活動状況について報告があり、アドバイザーの阿部昌樹さんからご助言をいただきました。



第10回「中間報告のイメージを検討しよう！」

リーダー会議での検討内容として、「各分科会別意見交換団体リスト」の作成などについての報告がありました。その後、世話人会から、中間報告の内容(案)や中間報告会の企画(案)について説明がありました。

説明に対して、「中間報告会というネーミングでよいのか。意見交換会の方がよいのでは」、「市民会議の活動を紹介したり、市民会議への参加を促すのであれば“交流会”といった名前にすることも考えられる」などの意見が出されました。

意見交換を受けて、中間報告のイメージや中間報告会の名称、プレゼンテーションの方法などについて、分科会毎にわかれて話し合うこととなり、話し合った内容について発表していただきました。発表では、「“みのおの明日をみんなで考えましょう”、“市民との意見交流会”といった名前がよいのではないか」といった提案があり、全体での意見交換を重ねた結果、中間報告会の名称を以下の通りとすることとなりました。



あなたがつくる「箕面のあした」
「市民と市民会議との意見交流会」

最後に、広報活動として、「もみじだより」1月号の原稿や、市民会議をPRするチラシ・ポスターの作成について世話人会から説明がありました。

第 11 回「意見交流会に向けて検討状況を共有しよう！」

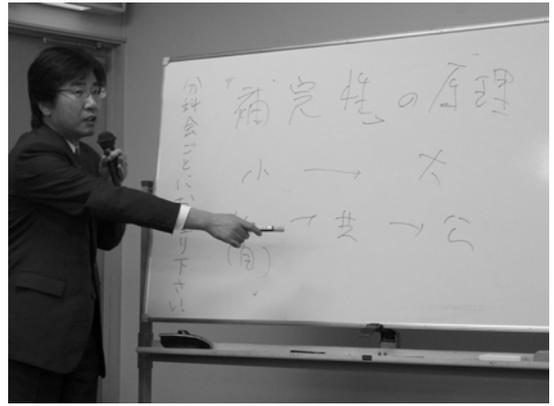
意見交流会に向けて、各分科会での検討状況を共有するため、アドバイザーの阿部昌樹さんを迎えて、世話人会や分科会から報告を行いました。

世話人からは、基礎的事項として、「箕面市を取り巻くこれからの 10 年」、「これからの箕面のまちづくりの進め方」、「まちづくりの中での、次期総合計画の位置づけ・役割」について報告がありました。

阿部さんからは、「「自助・共助・公助」の中で「共助」を重視していくという考えが示された」、「従来

の発想から一歩飛びぬけ、市民相互間で力を出し合って助け合ってまちを作っていきます」という部分が強く打ち出され、良いことだと思う」、「市民会議としては、総合計画をつくって行政にお任せするというのではなく、総合計画をつくった後もまちづくりにかかわっていく」という発想で総合計画にかかわっているということ意見を意見交流会で強調していただきたい」などのご助言をいただきました。次いで、各分科会からも発表があり、意見交換を行いました。

その後、世話人会から「市民と市民会議との意見交流会」の企画や、広報活動について説明がありました。また、意見交流会の事前準備のため全体会議を臨時で追加開催することについて世話人会から提案があり、了承されました。



第 12 回「意見交流会での発表内容の組立を共有しよう！」

「市民と市民会議との意見交流会」の準備・役割分担について世話人会から説明があり、世話人から提案のあった企画・役割分担に沿って、準備を進めていくことになりました。

その後、「箕面のあした」と題した基礎的事項（時代認識、まちづくりの進め方）について、代表の本多さんから説明があり、意見交換を行いました。

続いて、世話人及びコンサルタントから、各分科会の発表内容の項目の立て方や、レベルをあわせていくために、「第 4 分科会を例としてみんなで考えてみよう」と題して、第 4 分科会を例に全員で一度検討してみる機会をもつことになった趣旨について説明がありました。



説明に続いて、第 4 分科会の川端リーダーから「命の森を豊かにする。安心して暮らせるまちづくり分科会提言シート」についての説明があり、それを受けて意見交換を行いました。

最後に、広報活動として、意見交流会のチラシを作成したことや、市民会議についての「みのおエフエム」での放送について、世話人会から報告がありました。

第13回「より良い意見交流に向けてのリハーサル！」

世話人代表の本多さんから、リハーサルの進め方について説明があり、進行シナリオに沿って、本番さながらにリハーサルを通して行いました。第5回リーダー会議&第8回世話人会においてリハーサルをした経験を踏まえ、発表資料や説明内容が調整されていたため、予定していた時間内にリハーサルをすることができました。リハーサルの終了後、意見交流会をより良いものとしていくために、意見交換を行いました。



意見交換を踏まえ、総論については世話人会で、各分科会資料については各分科会において、発表資料の最終調整を行うことになりました。

その後、「意見交流会」の準備・役割分担について世話人から説明があり、配布資料や役割分担について意見交換を行いました。

最後に、世話人会から、みのおエフエムの新番組「まちのラジオ（仮題）」企画（案）について説明がありました。

第14回「平成20年度に向けて！」

司会の進行により、意見交流会でいただいたご意見の内容をふりかえるとともに、ご意見についての検討を担当する分科会を決めました。意見交流会について、「止々呂美地域でのご意見を踏まえて、市民会議として地域の問題を扱うのかどうかの検討が必要」、「提言内容についての実行性の検討が必要」、「分科会において検討すべき課題が残っている」、「意見交流会でいただいたご意見に対する回答の作成が必要」など4つの宿題があるとのまとめが副代表からありました。

次に、2007年度最後の全体会議となることから、これまでのふりかえりを行うとともに、2008年度の活動の流れについて、コンサルタントから大まかなイメージの説明がありました。説明を受けて3グループに分かれて、改めて提言書のとりまとめのイメージや、分科会活動の進め方などについてざっくばらんに話し合い、検討成果を全体で発表しました。

2008年度の進め方については、世話人会で検討し、次回の全体会議で確定させていくこととなりました。



[提言書の構成イメージ]

■提言書の構成イメージについて ～世話人会での検討をもとにしたイメージ～

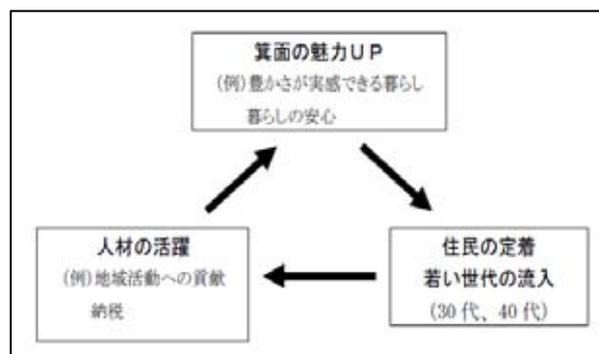
- 9月末に提出する「提言書」は、「基本構想に相当する部分」(総論)と、「基本計画に相当する部分」(各論)で構成する。
 - ⇒ 元々、市からは基本構想に対する提案(方向性)が求められているが、基本計画に相当する部分(具体策など)も提言していく。
- 総論については、「意見交流会での報告内容」、「これからの10年間の認識」を踏まえ、「大切にしている考え方」、「将来都市像(あしたの箕面)」、「地域経営のあり方」を提言していく。たたき台の作成のため、「検討チーム」を立ち上げる。
 - ⇒ 将来都市像については、あらゆる分野についてまちづくりの方向性を示すものとして構築します。
 - ⇒ 検討チームに参加いただける方を募集します。検討チームは、有志+分科会リーダー+世話人で構成します。
- 各論については、分科会で引き続き検討していく。
 - ⇒ あらゆる分野について提言するのではなく、市民会議として、重要と考える分野について提言します。
(ただし、総論の内容を検討・整理していかなく、分科会に追加的に検討をお願いすることが出てくる場合があると思われます)
 - ⇒ 各分科会においては、意見交流会での成果と経験を踏まえ、「多様な意見の収集」、「地域別課題と方向性の検討」について、特に留意しながら検討(肉付け)を進めることとします。
 - ⇒ 各分科会の検討成果については、下記の項目(共通フォーマット)に沿って、6月末を目途にとりまとめていくこととします。



第16回「提言書の主要事項（素案）を共有しよう！」

アドバイザーの阿部昌樹さんを迎えて、提言書の主要事項を検討しました。

検討チームからは、まちづくりの基本方針として、右図のように、「箕面の魅力が増え、住民が増え、そういう人たちが活躍し、元気な箕面ができてくる」という好循環を生み出していくことが提案されました。また、“「箕面らしさ」を活かすまち”、“地球環境さきがけのまち”など、5つのまちづくりの目標が提案されました。



分科会からは、5項目の共通フォーマット（目標、指標、現状と課題、必要な取組、まちづくりの効果）に沿って、検討成果を再整理した結果の報告がありました。



阿部さんからは、「“将来都市像”を考えるにあたって、“将来自分像”を考えてみると、具体策への落としこみ方が分かりやすい」、「抽象的な目標から具体的な目標を考えていくとツリー状の図となる」、「検討チームの提案内容と分科会の提案内容がきちんとツリー状につながっているかどうかの検証が必要」などのご助言をいただき、検討チームにおいてツリー図の作成に取り組むこととなりました。

第17回「提言書『素案』の仕上げに向けて！」

提言書「素案」について、検討チームや分科会から報告を行いました。

検討チームからは、前回の全体会議を受けて作成した「ツリー」（次ページの図参照）の報告があり、5つのまちづくりの目標のもと、30のまちづくりの基本方向が示されました。また、基本方向と「分科会提言シート」との対応関係が示されました。意見交換では「まちづくりの基本方向の数が柱によりばらついている」、「防犯の記述がない」、「障害者や高齢者、女性の就労支援についての記述が必要」、「商業の活性化が、なぜ、子どもにかかわる柱に位置づけられているのか理解できない」など、ツリー（政策体系）について活発な意見交換が行われました。

分科会からは、右図の6項目に沿って作成した「提言シート」が提出されましたが、意見交換を行う時間は取れませんでした。

〔提言シートの構成〕

1. 目標
2. 指標
3. 現状と課題
4. 取組・役割分担
5. 個別案件に関する提言
6. まちづくりの効果

提言書「素案」の仕上げに向けて残している作業について説明があり、分科会での検討成果について、別途意見交換会を開催することが提案されました。

また、8月に予定している市民との意見交流の企画について話し合い、「アンケート調査をしてはどうか」、「準備で苦労したが意見交流会への参加者が少ない」、「出席者の数が少なくても、意見交流の場を何らかのかたちで持つことが必要ではないか」などの意見が出され、検討チームで引き続き検討することとなりました。

その他、世話人から、策定委員会議、審議会への代表者の選出方法（希望者を募り世話人会で候補者を選任）や、東海市まちづくり市民委員会との交流会の開催予定が報告されました。

第 17 回全体会議資料(素案)

第 18 回全体会議資料(案)

いつまでも安心して暮らせるまち
/ みんなで安心をつくるまち

人と人が認め合い、支え合い、心の通うゆたかなまちをつくります
自分の健康は自分で守り、みんないきいき暮らします
よい医療を上手な受診で支えます
暮らしの安心をみんなの助け合いで支えます
地震に強い安全なまちづくりをすすめていきます
市民が消費者として安心して暮らせるまちをつくります
交通安全

「こどもたちの未来」育むまち
/ 人と人が関わり人が育つまち

市民、行政、地域が一体となって、人を育てることをすすめます
子どもは「地域の宝」として地域で育てていくことを目指します
地域で学ぶ子ども、地域で守る子どもを、学校と地域の連携で確実なものにしていきます
青少年たちには、自分で問題を乗り越え解決する力があります。その手助けをしていきます。
学び、挑戦する心と楽しみを持ちながら、地域の力となり、生涯元気に生きることのできるまちを目指します
地域の人の顔が見える、市民が気軽に挨拶を交わしているまちをつくります
地域に根ざした商店街の活気を、維持向上させるまちづくりをすすめます
「はたらきたい」を守るまちづくりをすすめます
食を通して命と環境のつながりを学び、人が生きる力を育むまちづくりを目指します

地球環境さきがけのまち
/ 「エコ社会」を進めるまち

基本理念による地球環境保全行動をすすめています
楽しい省資源・省エネ活動をすすめています
誰もが便利な公共交通をつくっていきます
成熟都市にふさわしい上・下水道をすすめています

「箕面らしさ」を活かすまち
/ 自然・文化・歴史を活かすまち

箕面の山や川、緑を守ろう
まちなみ・住環境の保全
歴史・文化を後世へ伝えていく
箕面の魅力を活かすまちづくり

「箕面のあした」をみんなで創るまち

市民が自律し、地域コミュニティに参加します
市民が新たな公共を創り協働でまちづくりを進めます
市民の意思が一層明確に市政に反映されます
行政は無駄のない効率的な経営をします
健全な財政を次世代に継承します
情報(IT)

安心・安全でみんながいきいき暮らすまち

健康は自分で守り、頼れる医療をつくります
(健康・医療)
誰もが明るくいきいき暮らします(高齢者・障害者福祉)
みんなで町の安全と潤いをつくります(安全)
みんながいきいき働く町をつくります(働く)

子どもたちの夢が育つまち

人と人が認め合い、受け容れあうゆたかなまちをつくります(人権)
子どもたちは「地域の宝」として、地域で育てていくことを目指します(子育て支援)
確かな未来を見つけることのできる教育を行います(教育)
生涯学び、生涯元気に暮らすことのできるまちを目指します(生涯学習)

地球環境さきがけのまち

先駆け都市にふさわしいエコライフのまち
(エコライフ)
先駆け都市にふさわしいエコシティのまち
(エコシティ)
公共交通(公共交通)

「箕面らしさ」を活かすまち

山、川、緑の自然環境を守っていきます
(自然)
歴史・文化を後世に伝えていきます(歴史・伝統文化)
地域の住環境・まちなみ・景観をつくっていきます(住環境・まちなみ)
あたらしい観光と産業を開発していきます(観光・産業)

「箕面のあした」をみんなで創るまち

地域コミュニティが、住みよい地域をつくり
ます(地域コミュニティ)
市民が支えあう公益活動ネットが、新しい
公共を創造し、協働のまちづくりを進めます
(市民活動)
市民とともに無駄の無い経営を進め、健全
な財政を次世代に継承します(行政経営)

第 18 回「提言書（案）のほぼ完成！」

提言書（案）を検討するため、アドバイザーの阿部昌樹さんを迎えて、検討チームや分科会から報告を行いました。

検討チームからは、7章構成の提言書（案）が示されました。将来都市像（案）や、5つのまちづくりの目標のもと18政策の体系（ツリー）（前ページの図参照）が示されました。また、新たに作成した「政策シート」の説明があり、分科会で作成している「提言シート」とのつながりが示されました。

続いて、まちづくりの目標ごとに「政策シート」の説明があり、阿部さんからは、「外国人施策や起業支援を追加してはどうか」、「子どもが市政に提言できる場を提案してはどうか」、「エコシティを作るためには隣接都市との連携が大事」、「交通弱者のために東西交通の充実が重要」、「景観協定は自らに制限を課すものだが、市民が覚悟をもって取り組むことがこれからのまちづくりでは大事」、「コミュニティやNPOに関する提言では“共助”という言葉をもっと強調してはどうか」、「提言書は市長に対して提出するものなので、議会に関する提言を分けて記述しているのは良い」などのご助言をいただきました。

その後、検討チームから示された将来都市像の3案（下図）について、参加者全員から支持する案を表明していただいたところ、B案をベースとした「ひとが元気、まちが元気、やまが元気 みんなでつくる「箕面のあした」」を将来都市像とすることになりました。

その他、世話人から、策定委員会議及び審議会への代表者の提案があり、了承されました。また、市民との意見交流会を9月6日にグリーンホールで開催するとの報告がありました。

[提言書の構成]

1. 新しい時代の総合計画
2. 今後10年の箕面市を取り巻く社会変化
3. まちづくりの基本となる考え方
4. 将来都市像
5. まちづくりの基本方向
6. 自治と協働の地域経営
7. 市議会に対する提言

[世話人から示された将来都市像（案）]

【A - 1案】ひとが元気、まちが元気、やまが元気 みんなで創る「住みよいまち箕面」

【A - 2案】ひとが元気、まちが元気、やまが元気 みんなで創る「快適なまち箕面」

【B案】ひとが元気、まちが元気、やまが元気 みんなで創る「箕面のあした」

第 19 回「市民との意見交流で最後の仕上げを！」

8月8日に開催した東海市まちづくり市民委員会との交流会の概要について進行役から報告がありました。その後、世話人から、意見交流会のプログラムやパブリックコメントの実施要項について説明がありました。意見交流会に関しては、会場のグリーンホールにエレベーターがないため、車いすでの来場者への対応について検討しました。

その後、パブリックコメントに向けて、用語の統一など細かな点を含めて意見交換が行われました。

議事が早めに進行したことから、市民会議のこれからについて、参加者各自に意見・感想を述べていただくこととなり、「策定委員会議、審議会への代表者をサポートしていきたい」、「提言書ができて終わりではなく、提言書をいかに実行していくかが重要」、「みなさんの知識の豊富さと熱心さに驚いた」などのご意見をいただきました。



第20回「箕面市民会議 フィナーレ！」

9月6日に開催した市民との意見交流会の概要について進行役から報告がありました。その後、検討チームの各担当から、意見交流会やパブリックコメントでいただいたご意見を踏まえた修正事項（反映した点、反映できなかった点）について説明があり、意見交換の後、「提言書」、「提言シート集」の最終案について、拍手でもって了承されました。また、2008年度の決算（案）について会計から報告があり、了承されました。続いて、世話人会から、「提言書の提出後も、策定委員会及び審議会での議論を見守っていく」との活動方針について提案があり、了承されました。

市長が会場に来られ、副代表の川端さんから市長に提言書を提出していただきました。その際、川端さんから下記の説明がありました。



この提言書は、昨年6月から市民とサポートスタッフの合計79人が検討してきた成果です。第四次総合計画を洗い直し、現状と進捗状況についての議論を経て、6つの分科会を設置しました。市民の意見を広く集めたいということから、色々な団体のかたとも意見交換をしました。また、先日は意見交流会も開きました。それらの成果をまとめたものがこの提言書です。大いに活かしていただきたいと思います。

提言書を受け取られた市長からは、「とりまとめにあたって時間や労力をかけていただいたと職員から聞いている」、「総合計画は大きな流れ、うねりをつくっていくものだと考えている」、「たくさんの声を集め、提言書にまとめていただき本当に感謝を申し上げます」とのお話がありました。また、提言書のポイントについて説明した後にも、市長から、「箕面の魅力アップで良い循環を増やしていくという考え方は同感である」、「“やまが元気”という将来像を掲げられるのは箕面の大きな特徴である」、「提言書は実現性が考慮され、提言シート集にはアイデアがちりばめられている」、「たくさんの指標が提案されているのは非常にありがたい」、「提言書と提言シート集は総合計画を作っていく上での指針となる」とのお話がありました。

市民会議のフィナーレにあたって、市民会議にかかわったすべての人（参加者、コンサルタント、事務局）からひとことずつ、意見・感想を述べていただくこととなり、「検討チームでの作業は大変でした」、「聞くこと、見ること、新しいことばかりでした」、「みなさんの熱い想いを忘れないようにしたい」、「提案したことが提言書に反映されて感慨深い」、「“これから”を担う世代として今後も参加したい」、「箕面の明日を実現するためには、職員も元気でないといけない」、「市民会議に参加したことがきっかけで、地下道の落書き消しの取組ができた」、「提言書に書いたことの中には明日から実践できるものもあるので協力して欲しい」、「サポートスタッフとして参加して、初めてお会いした方々と話し合えたことが自分の中で実になったと思う」、「毎日食事をするのと同じように私たちは努力を毎日続けていかないと、ことは成らない」、などたくさんの感想・抱負をいただきました。

最後に、副代表の川端さんからご挨拶があり、約1年4カ月にわたる市民会議の活動の幕が閉じました。

(3) 分科会の開催概要

2007年10月以降、6つの分科会に分かれ、課題整理や提言の検討などに取り組みました。検討過程においては、各分科会の検討テーマに関連する市内の団体との意見交流なども行いました。

分科会の開催回数は、6分科会あわせて128回となりました。また、2008年6月から7月にかけて分科会間での提言内容の共有・調整を行うための会議を5回開催しました。

分科会の開催経過

	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会	第5分科会	第6分科会
名称	元気 みのお ...人がげんき、 街がげんき、山 がげんき...	人と人が関わ り、人が育つ	ひとが育てる 環境	命の森を豊か にする。安心し て暮らせるまち づくり	市民主体のま ちづくり	箕面市の経営 改革 ビジョン と戦略
第1回	10/24(水) 19:00	10/26(金) 18:00	10/25(木) 13:30	10/26(金) 15:30	11/1(木) 9:30	10/31(水) 18:30
第2回	11/7(水) 19:00	11/1(木) 13:30	11/12(月) 13:30	11/7(水) 15:30	11/13(火) 18:30	11/7(水) 9:30
第3回	11/21(水) 18:30	11/20(火) 13:30	11/19(月) 18:00	11/12(月) 9:30	12/4(火) 18:30	11/15(木) 18:30
第4回	12/11(火) 18:30	11/30(金) 13:30	12/11(火) 18:00	11/28(水) 20:55	12/12(水) 18:30	11/20(火) 19:00
第5回	12/19(水) 18:30	12/19(水) 13:30	12/25(火) 14:00	12/5(水) 19:00	12/18(火) 18:30	12/7(金) 19:00
第6回	1/9(水) 18:30	1/9(水) 13:30	1/11(金) 9:00	12/13(木) 10:30	1/8(火) 18:30	12/18(火) 10:00
第7回	1/17(木) 18:30	1/21(月) 14:00	1/24(木) 9:00	12/26(水) 9:30	1/15(火) 18:00	12/25(火) 14:00
第8回	1/31(木) 18:30	1/30(水) 13:30	1/24(木) 9:00	1/10(木) 13:30	1/29(火) 18:00	1/9(水) 14:00
第9回	2/25(月) 18:30	2/5(火) 13:30	2/6(水) 9:00	1/15(火) 9:00	2/12(火) 18:30	1/17(木) 14:30
第10回	3/4(火) 18:30	2/12(火) 13:30	2/13(水) 9:00	1/22(火) 13:30	2/26(火) 18:30	1/28(月) 18:30
第11回	3/17(月) 18:30	2/19(火) 13:30	2/25(月) 9:00	2/7(木) 13:30	3/11(火) 18:30	2/13(水) 18:30
第12回	4/28(月) 18:30	2/28(木) 13:30	3/3(月) 9:00	2/19(火) 9:30	4/22(火) 18:30	2/25(月) 13:30
第13回	5/15(木) 18:30	3/4(火) 13:30	3/10(月) 9:00	2/27(水) 13:30	5/14(水) 18:30	3/6(木) 10:00
第14回	5/21(水) 18:30	3/18(火) 13:30	4/7(月) 9:00	3/3(月) 16:00	5/21(水) 18:30	4/1(火) 18:30
第15回	6/5(木) 18:30	4/30(水) 13:30	4/16(水) 14:00	3/18(火) 18:30	6/5(木) 18:30	4/10(木) 10:00
第16回	6/26(木) 9:30	5/14(水) 14:00	4/28(月) 10:00	4/9(水) 18:00	6/13(金) 18:30	4/14(月) 18:30
第17回	6/30(月) 10:00	5/21(水) 13:30	5/12(月) 10:00	4/22(火) 13:30	6/25(水) 18:30	4/21(月) 18:30
第18回		6/5(木) 13:30	5/16(金) 10:00	4/28(月) 14:00		4/24(木) 14:00
第19回		6/10(火) 13:30	5/20(火) 10:00	5/8(木) 15:00		5/7(水) 18:30
第20回			6/9(月) 10:00	5/20(火) 13:30		5/16(金) 18:30
第21回			6/13(金) 9:30	6/2(月) 13:30		5/22(木) 18:30
第22回			6/24(火) 9:30	6/11(水) 9:30		6/6(金) 18:30
第23回			7/4(金) 9:30	6/27(金) 13:30		6/12(木) 18:30
第24回			7/11(金) 9:30			6/26(木) 18:30
第25回			7/18(金) 9:30			
第26回			7/29(火) 9:30			
第27回			8/7(木) 9:30			
第28回			8/19(火) 9:30			

(4) 検討チーム会議の開催概要

2008年4月以降、基本構想に相当する部分の提言のたたき台を作成するため、「検討チーム」を設置し、25回にわたって検討を行いました。第14回検討チーム会議では、市民会議のアドバイザーである阿部昌樹さんをお招きし、ご助言をいただきました。

下記の開催経過に示すように、全体会議を重ねるごとに、提言書の内容を「骨子案」から「素案」、「案」、「パブリックコメント案」、「最終案」へと順に高めていきました。

検討チーム会議の開催経過

開催経過	開催日時	備考
		第15回全体会議(4/17)
第1回検討チーム会議	2008年4月24日(木)	まちの将来像を共有し「提言書(骨子案)」を作成
第2回検討チーム会議	2008年5月7日(水)	
第3回検討チーム会議	2008年5月15日(木)	
第4回検討チーム会議	2008年5月22日(木)	
		第16回全体会議(5/28)
第5回検討チーム会議	2008年5月29日(木)	政策体系(ツリー)を構築し、「提言書(素案)」を作成
第6回検討チーム会議	2008年6月9日(月)	
第7回検討チーム会議	2008年6月16日(月)	
		第17回全体会議(6/19)
第8回検討チーム会議	2008年6月25日(水)	政策シートを作成し、「提言書(案)」を作成
第9回検討チーム会議	2008年6月27日(金)	
第10回検討チーム会議	2008年7月8日(火)	
第11回検討チーム会議	2008年7月14日(月)	
第12回検討チーム会議	2008年7月15日(火)	
第13回検討チーム会議	2008年7月18日(金)	
		第18回全体会議(7/23)
第14回検討チーム会議	2008年7月29日(火)	指標などを精査し、「提言書(パブコム案)」を作成
第15回検討チーム会議	2008年8月5日(火)	
第16回検討チーム会議	2008年8月12日(火)	
第17回検討チーム会議	2008年8月15日(金)	
第18回検討チーム会議	2008年8月21日(木)	第19回全体会議(8/21)
第19回検討チーム会議	2008年8月23日(土)	パブコム案を作成
第20回検討チーム会議	2008年8月26日(火)	
第21回検討チーム会議	2008年9月1日(月)	
		意見交流会(9/6)
第22回検討チーム会議	2008年9月10日(水)	パブコムを踏まえて、「提言書(最終案)」を作成
第23回検討チーム会議	2008年9月18日(木)	
第24回検討チーム会議	2008年9月22日(月)	
		第20回全体会議(9/24)
第25回検討チーム会議	2008年9月26日(金)	

まちの将来像を共有し「提言書（骨子案）」を作成（第1回～第4回）

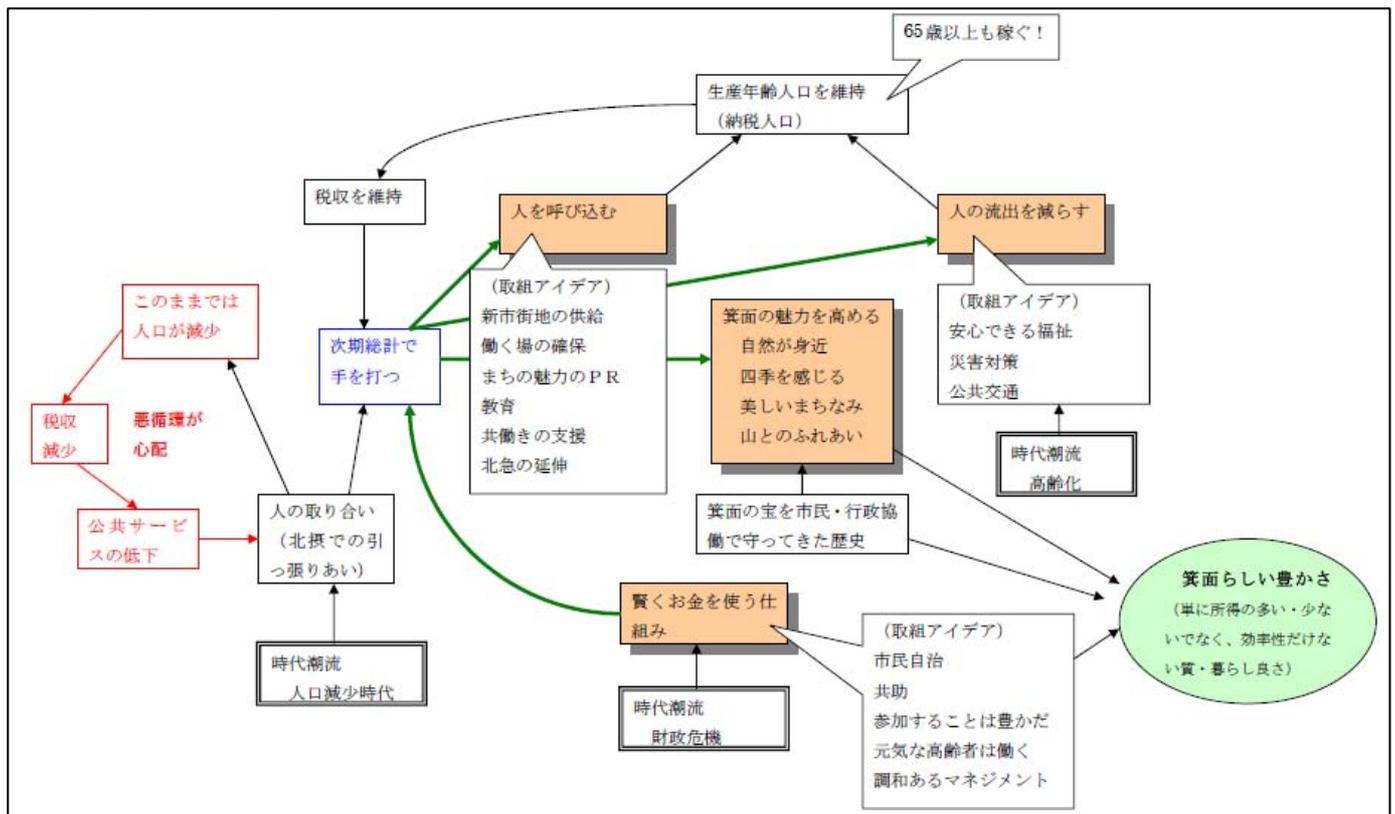
4月の全体会議（第15回）での世話人からの提案を受けて、検討チームが4月24日に発足しました。検討チームには世話人、分科会リーダーに有志5人が加わり、合計12人での活動となりました。

第1回検討チーム会議では、改めて、検討チームの役割やスケジュールを確認しました。体制については、「全員がリーダーのつもりで頑張る」との共通理解のもと、リーダー、サブリーダーは置かず、輪番制の進行役が議論をまとめていくことになりました。その後、意見交換を行い、次回までに、各自が「提言の背景」、「大切にしている考え方」、「将来都市像」について考えを整理し、全体で共有することとなりました（提言書の構成イメージP.19参照）。

第2回検討チーム会議では、参加者が考えてきた「提言の背景」、「大切にしている考え方」、「将来都市像」を共有し、参加者の意見をつなぎあわせることで、下図のような時代潮流を踏まえたまちづくりの方向性が一例として見出されました。人口減少という環境変化に対応できず、高齢化 人口減少 税収減 公共サービスの低下といった悪循環に陥らないようにするためには、“箕面の魅力を高める”ことで外から人を呼び込み、住民の満足と安心を高めることで人の流出を減らすことが大切であるとの方向性が明確化されました。また、市民自治、共助などの考え方のもと、限られた資源を賢く使っていく仕組みの必要性が見いだされました。

まちづくりの大きな方向性、考え方が共有されたことから、次回までに、各自が将来都市像と施策の体系（柱立て）を考えてくることになりました。

[時代潮流を踏まえた箕面市のまちづくりの方向性]



第3回検討チーム会議では、それまでの議論の成果を、提言書の構成イメージに沿って、コンサルタントがたたき台としてとりまとめた「提言書（骨子案）」に沿って意見交換を行いました。産業政策の位置づけについては、「財政を支えるような基幹産業を興すということは考えず、市内での経済循環を高める」、「暮らしを支える流通・サービスは必要」、「農業・農地はこれからの時代はとても大切」という方向性が共有されました。また、共助の仕組みをより良くまわしていくために、「無償のボランティアだけに依存するのではなく、多少でもお金を介在させるなどビジネス的な考えを活用していくことが必要」などの意見がありました。また、「“箕面らしい暮らし”とは何か」ということを掘り下げて考えていくことの必要性が共有されました。話し合いを重ねた結果、まちづくりの目標となる5つの柱が見出されました。

次回までに、5つの柱のネーミングや将来都市像、また、その前提となる「箕面らしい暮らし」について、各自が考えてくることになりました。

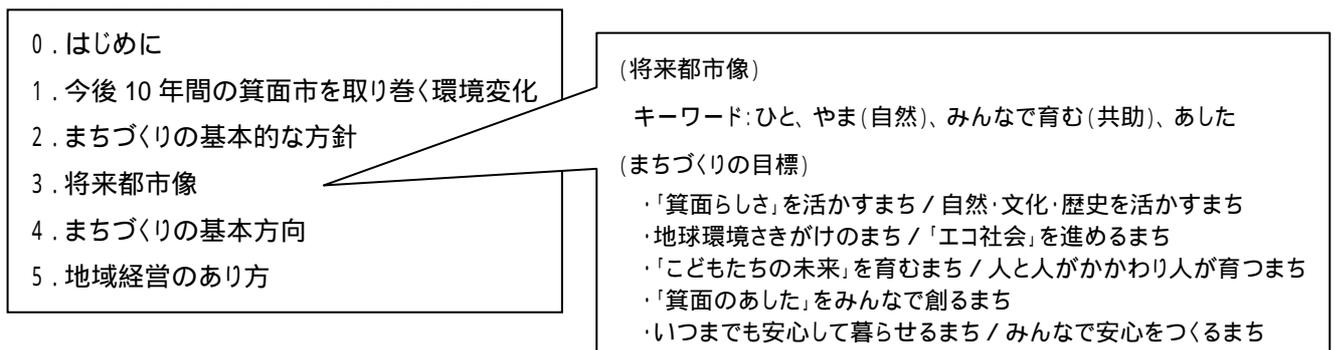
[まちづくりの目標となる5つの柱]

- みのおの自然・まちなみ・住環境・歴史を、みんな（市民・行政の協力）で守り、伝えていこう！（箕面らしさということを守ろう）
⇒何をどこまで守るのが、守れるかを考えた上で
- よそのまち以上に、環境対応型のまち（エコ社会）に率先して徹底して変わっていこう！（転換していこう）
- 子どもは“箕面の宝”！子育て支援、青少年の健全育成、教育（学力＋感性、体力、社会能力）をしっかりしよう！コミュニティで子どもを育もう！
- まちづくりと市民の関わりを伸ばしていこう！まちづくりと市民とが関わるシステム（自治システム）を整えよう。学んだことを社会に活かそう！（自己実現の生涯学習から、学んだことを社会に役立てる、生涯社会参加のまちへ）
- いつまでも安心して住めるまちにしよう（福祉、災害対策、防犯、人権）

第4回検討チーム会議では、まず、「地域経営のあり方」について検討を行い、第6分科会から提言のあった「まちづくり市民会議」の位置づけ、構成、権限などを今後検討していくことの必要性が共有されました。コンサルタントからの助言で、東海市の「まちづくり市民委員会」をお招きした学習会を開催することとなり、日程調整を行うこととなりました。

続いて、各自が考えてきた「まちづくりの目標のネーミング」や「将来都市像」、「箕面らしい暮らし」を全体で共有し、施策体系（柱立て）の順序は引き続き検討するものの、5月の全体会議（第16回）では下記の構成の骨子（案）を報告することとなりました。

[5月の全体会議で報告した提言書（骨子案）の構成]



政策体系（ツリー）を構築し「提言書（素案）」を作成（第5回～第7回）

第5回検討チーム会議では、前日に開催された5月の全体会議（第16回）でのアドバイザーの阿部昌樹さんからの助言を受けて、骨子案の5つの柱と、各分科会での検討成果をつなぎあわせた「政策体系（ツリー）」の構築に取り組みました。

その結果、複数の分科会が検討している分野があることや、箕面市にとって大切な要素である「まちなみ」や「住環境」について、どの分科会でも検討されていないことが明らかになりました。基本計画相当部分の提言としてとりまとめていく、分科会の検討成果については、抜け落ちや漏れ・重複があることを共有した上で、6月の全体会議（第17回）に向けて、「提言シート」としてのとりまとめを進めることとなりました。基本構想素案相当部分の提言については、検討チーム会議のメンバーで分担執筆することとし、第6回会議、第7回会議で検討を重ね、5つのまちづくりの目標のもと、30のまちづくりの基本方向を体系的に示した提言書（素案）を作成しました。

第7回検討チーム会議では、提言書の仕上げに向けて残している作業を共有しました。また、6月の全体会議（第17回）の際に、分科会の検討成果（提言シート）について十分な検討時間を確保することが難しいと考えられることから、6月下旬から7月上旬にかけて、全体会議とは別に「提言シート」の検討会を開催することを提案することとなりました。

《基本構想相当分の提言》（検討チームが作成）

[6月の全体会議で報告した提言書（素案）の構成]

0. はじめに
1. 今後10年間の箕面市を取り巻く社会変化
2. まちづくりの基本となる考え方
3. 将来都市像
4. まちづくりの基本方向
(5つのまちづくりの目標のもと、30のまちづくりの基本方向を体系的に提示、文章化)
5. 地域経営のあり方

[5月の全体会議で報告した提言書（骨子案）の構成]

0. はじめに
1. 今後10年間の箕面市を取り巻く環境変化
2. まちづくりの基本方針
3. 将来都市像
4. まちづくりの基本方向
5. 地域経営のあり方



骨子を文章化

検討チーム会議で政策体系（ツリー）を検討

《基本計画相当分の提言》（分科会が作成）

[6月の全体会議で報告した提言シートの構成]

1. めざす姿
2. 指標
3. 現状と課題
4. 取組・役割分担
5. 個別案件に関する提言
6. まちづくりの効果

[5月の全体会議で報告した共通フォーマットの構成]

1. 目標
2. 指標
3. 現状と課題
4. 必要な取組
5. まちづくりの効果



提言シートを作成

政策シートを作成し「提言書（案）」を作成（第 8 回～第 13 回）

6月の全体会議（第 17 回）では、政策体系（ツリー）について、「まちづくりの基本方向の数が柱によりばらついている」、「防犯についての記述がない」、「障害者や高齢者、女性の就労支援についての記述が必要」、「商業の活性化が、なぜ、子どもにかかわる柱に位置づけられているのか理解できない」など活発な意見交換が行われました。

そこで、第 8 回検討チーム会議では、政策体系を再検討することとしました。検討に時間を費やしたのは産業と就労でした。商業など産業活性化に関連する内容については、観光ともかかわることなどから「箕面らしさ」の柱に位置づけることとなりました。就労については、雇用の安心の観点から「安全・安心」の柱に位置づける案、人材育成の観点から「人が育つ」に位置づける案、産業と雇用を一体にするとの観点から「箕面らしさ」の柱に位置づける案、の 3 案がありましたが、ベッドタウンである箕面市では他都市で働いている人が多いことなどを考慮し、「安全・安心」の柱に位置づけることとなりました。事務局から政策の数を 20 程度に絞って欲しいとの要望も考慮して検討を重ね、第 9 回検討チーム会議で 5 本柱・18 政策の政策体系（ツリー）がようやく固まりました。（変遷については P.21 参照）

また、まちづくりの基本方向の内容・レベルにばらつきがあったため、ひな形を作成し、分担して内容の充実に取り組むこととなりました。ひな形には、方向性の文章に加えて、暮らしの姿や指標、主要な取組、関連する提言シートの番号などを記載することとし、「政策シート」と名づけました。また、「地域経営のあり方」の位置づけを見直すとともに、議会に対する提言の位置づけを明確化するため、提言書の構成が 7 章構成に見直されました。

分科会の検討成果をとりまとめる「提言シート」については、複数の分科会が重複して検討している分野があることから、該当する分科会のリーダーが協議し、調整方針を決め、提言シートの統合作業を進めることとなり、その進捗状況を共有しました。

検討を進めていく中で、主要プロジェクト（箕面森町、彩都、北大阪急行の延伸、箕面駅周辺整備、桜井駅前地区整備）について討議する場を設けることとなり、第 11 回の検討チーム会議では、所管課から提供された資料や、所管課に事前質問した回答結果も踏まえ、特に「北大阪急行の延伸」、「市街地再生（箕面駅前、桜井駅前）」について集中討議が行われました。北急の延伸に関しては、公共交通ネットワークのコアとしての必要性については共有されましたが、事業採算のシミュレーションでの利用者数の想定が過大との懸念も示され、提言書では財政負担の観点から慎重な検討を求めていく方向性が共有されました。市街地再生については、商業機能がニーズとマッチしていない、周辺住民の支え・盛り上げが不可欠であるなどの認識が示され、中心市街地活性化基本計画の着実な実行を求めていく方向性が共有されました。

また、市民との意見交流の企画については、パブリックコメントを 9 月上旬に行うとともに、その期間中に意見交流会をグリーンホールで開催することとし、7月の全体会議（第 18 回）で提案することとなりました。アンケート調査については、送付先の個人情報の入手が難しいことや、提言書の精度を高める作業に注力するほうが望ましいとの考えから、実施を見送ることとなりました。

第 12 回、第 13 回の検討チーム会議では、将来都市像について検討し、7月の全体会議（第 18 回）で検討チームとしての 3 案を示し、参加者の意見が分かれるようであれば投票により決定することが確認されました。

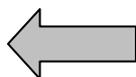
《基本構想相当分の提言》(検討チームが作成)

[7月の全体会議で報告した提言書(案)の構成]

1. 新しい時代の総合計画
2. 今後 10 年の箕面市を取り巻く社会変化
3. まちづくりの基本となる考え方
4. 将来都市像
5. まちづくりの基本方向
(5つのまちづくりの目標のもと、18の政策シートを作成)
6. 自治と協働の地域経営
7. 市議会に対する提言

[6月の全体会議で報告した提言書(素案)の構成]

0. はじめに
1. 今後 10 年間の箕面市を取り巻く社会変化
2. まちづくりの基本となる考え方
3. 将来都市像
4. まちづくりの基本方向
(5つのまちづくりの目標のもと、30のまちづくりの基本方向を体系的に提示、文章化)
5. 地域経営のあり方



政策シート
を作成、構
成を見直し

検討チーム会議で政策
体系(ツリー)を再検討

《基本計画相当分の提言》(分科会が作成)

[7月の全体会議で報告した提言シートの構成]

1. めざす姿
2. 指標
3. 現状と課題
4. 取組・役割分担
5. 個別案件に関する提言
6. まちづくりの効果

[6月の全体会議で報告した提言シートの構成]

1. めざす姿
2. 指標
3. 現状と課題
4. 取組・役割分担
5. 個別案件に関する提言
6. まちづくりの効果



類似の提言シート
を統合(構成は
変わらず)

指標などを精査し「提言書(パブコメ案)」を作成(第14回~第20回)

7月の全体会議(第18回)において、提言集(案)、提言シート集(案)を提示し、提言書の最終的な姿が固まりました。また、将来都市像についても、「ひとが元気、まちが元気、やまが元気 みんなでつくる「箕面のあした」」に決まりました。

そこで、検討チーム会議では、パブリックコメントに向けた提言書(案)、提言シート集(案)の精査と、パブリックコメントや市民との意見交流会の準備に取り組みました。

第14回の検討チーム会議では、アドバイザーの阿部さんから助言を受け、まちづくりの目標とまちづくりの基本方向とのつながりをわかりやすくするため、目標のところに、基本方向の説明文章と実現する暮らしの姿を加筆することとしました。また、8月8日には東海市まちづくり市民委員会との交流会を開催し、提言後の活動の重要性を再認識しました。その他、提言書についての説明の追加、これからの時代に必要な好循環の図の修正、まちづくりの目標や政策のタイトルの修正、指標の精査などが行われました。また、提言シート集(案)については、提言シート集のひな形を作成し、統一感のある資料に修正することとしました。さらに、指標を用いる意義や目標値の算出式などを示す「指標リスト」の作成にも着手しました。提言書(案)については、8月の全体会議(第19回)に先立って、市民会議のメンバー全員に事前送付し、意見を求めました。8月の全体会議では、用語の統一など細かな意見も出され、それらを受けて、パブリックコメント案としての仕上げが行われました。

パブリックコメントの実施に向けては、市の実施方法に準拠し、実施要領や意見提出用紙を作成するとともに、提言書の概要版を作成しました。

パブリックコメントを踏まえて「提言書（最終案）」を作成（第 21 回～第 25 回）
「市民と市民会議との意見交流会」（9 月 6 日開催）やパブリックコメントにおいて、市民から寄せられた数多くの貴重なご意見の一つ一つを丁寧に検討し、提言書と提言シート集の最後の仕上げを行いました。

また、総合計画策定委員会議、総合計画審議会に、市民会議から代表者を 2 人ずつ出すことから、審議会答申にいたるまでの間、代表者をサポートする活動を継続することについて、9 月の全体会議（第 20 回）で提案することとしました。

寄せられたご意見に対する市民会議の考え方と、提言書や提言シート集への反映状況については、「市民のみなさんから頂いたご意見と提言書への反映について」と題する資料にとりまとめることとし、9 月の全体会議（第 20 回）の後も作業を続け、10 月中旬に市民に公表しました。

以上の作業でもって、検討チームは活動を終わりました。

(5) 世話人会・リーダー会議の開催概要

市民会議を市民の自主的な活動として運営していくため、事務局の呼びかけにより、「運営委員会企画会議」が開催され、運営のあり方について検討を行い、有志により「世話人会」を組織しました。また、分科会間の連絡・調整を行うため、世話人会とは別に、必要に応じて、分科会リーダーによる「リーダー会議」を行うこととなりました。

「世話人会」では、会則、事業計画、予算などの案を作成し、全体会議に提案するとともに、全体会議の企画・進行、意見交流会の企画などに取り組みました。

全体会議の開催に向けて、多い時には、次の全体会議までの間に3回の世話人会やリーダー会議が積み重ねられ、次回に向けての準備を行いました。2008年4月以降については、検討チーム会議において、全体会の企画などを行いました。2007年度には、世話人会が9回、リーダー会議が5回、2008年度には世話人会が2回開催されました。

世話人会・リーダー会議の開催経過

開催経過	開催日時	備考
運営委員会の設立に向けた企画会議	2007年10月12日(金)	
		第8回全体会議(10/18)
第1回世話人会	2007年11月5日(月)	
第2回世話人会	2007年11月12日(月)	
第1回リーダー会議&第3回世話人会	2007年11月26日(月)	
		第9回全体会議(11/28)
第2回リーダー会議&第4回世話人会	2007年12月6日(木)	
		第10回全体会議(12/20)
第5回世話人会	2008年1月7日(月)	
第3回リーダー会議&第6回世話人会	2008年1月16日(水)	
		第11回全体会議(1/23)
第4回リーダー会議&第7回世話人会	2008年2月6日(水)	
		第12回全体会議(2/21)
第5回リーダー会議&第8回世話人会	2008年3月5日(水)	
		第13回全体会議(3/13)
第9回世話人会	2008年3月19日(水)	
		意見交流会(3/22、23) 第14回全体会議(3/26)
第10回世話人会	2008年4月3日(木)	
第11回世話人会	2008年4月10日(木)	
		第15回全体会議(4/17)

運営委員会の設立に向けた企画会議

事務局からの呼びかけにより、運営委員会の成立に向けた企画会議が開催されました。運営委員会の立ち上げまでの流れや、会則（案）、事業計画（案）、予算（案）などについて事務局から説明を受けた後、出席者により意見交換が行われました。

意見交換においては、「50万円の予算・支出の管理のための手続きが煩雑で運営委員の負担が大きい」、「事務局から直接支出して運営してはどうか」などの意見も出されましたが、「基本的には市民会議は市民が運営するもの」、「事務局を行政に委ねるのであれば、従来の市民参加の取組と変わらないものになる」、「補助金・助成金をもらっている団体は、きちんと予算を管理し、報告している」などの意見が出され、行政からの予算50万円を活用して、市民による自主的な運営に取り組む方向性で議論が進み、第8回全体会議で、運営委員（世話人）のメンバー募集を行うこととなりました。

第1回世話人会

第8回全体会議における運営委員（世話人）の募集に対して、9人の賛同があり、第1回世話人会が開催されました。

会則、事業計画については、第8回全体会議での意見（全体会議の招集規定の追加、市民に賛同が得られる提言書の作成をめざすことの目的への明記）を受けた事務局による修正案を次の全体会議に諮ることになりました。予算については、4つの項目（全体会議、分科会、中間報告会、予備）に沿って予算を検討し、項目毎の予算の枠を決定しました。代表、副代表、会計、監事については、世話人の互選により選出されました。その後、広報紙「もみじだより」への記事掲載について意見交換が行われました。

第2回世話人会

第9回の全体会議に向けて、第2回世話人会が開催されました。

会計から予算（案）、予算の執行ルール（案）が提案され、共通経費として、職員会館の会場費、ポスター作成費を計上することとなりました。また、各分科会の予算を4万円とすること、その用途を会場費、資料購入費、講師謝金、セミナーなどの参加費、施設入場料と想定することとなりました。分科会の予算は、分科会のリーダーが残額を管理し、各自で一時立て替えた後、支出依頼書及び領収書と引き換えに会計が支払うこととしました。

今後の市民会議の進め方については、欠席が続いている方に参加を呼びかけること、参加者募集のためのポスターを作製すること、全体会議の進行を5人の運営委員が輪番制で行うことなどが話し合われました。

また、分科会間での調整や、提言書のアウトプットイメージの検討など提言書の中身にかかわることについては、分科会リーダーの意見交換・調整の場である「リーダー会議」で検討することになりました。それを受けて、第9回の全体会議に先立って、第1回のリーダー会議を開催することになりました。

第1回リーダー会議&第3回世話人会

第9回の全体会議に向けて、第1回リーダー会議が開催されました。

各分科会における検討状況について、各リーダーから報告がありました。その後、コンサルタントから、分科会の進め方の参考として、これからの総合計画の方向性や、提言書の構成要素のイメージ、3月までの分科会活動の進め方などについて情報提供がありました。情報提供を受けて、都市計画については各分科会の視点からそれぞれ課題や方向性を検討することが確認されました。また、3月のとりまとめのイメージについて、リーダー会議で引き続き検討することになりました。

リーダー会議の後、引き続き第3回世話人会が開かれ、予算案、執行ルール案が了承されました。また、第9回の全体会議のプログラムについて検討・決定しました。

第2回リーダー会議&第4回世話人会

第10回の全体会議に向けて、第2回リーダー会議が開催されました。

分科会活動に関連して、市内の各団体との対話の予定について、一覧表により情報を共有しました。また、各分科会からの検討状況の報告を受けて、検討分野の重複・抜け落ちの状況を整理し、おおむねの分野が網羅されていることを共有しました。そのため、現段階では無理に検討分野について調整せず、当面、各分科会が想定している方向性で活動を進めることとしました。

また、中間報告に向けて、各分科会での検討の共通基盤となる全般的事項（箕面市を取り巻くこれからの10年の認識、現状の問題意識、まちづくりの進め方、総合計画の位置づけ・役割）について、市民会議としての認識を整理していくこととなりました。

市民向け報告会については、3月22日（土）、23日（日）に市内4地域で、2時間程度のプログラムで開催することとし、もみじだよりなどを通じて広報を行うこととしました。

リーダー会議の後、引き続き第4回世話人会が開かれ、第10回の全体会議のプログラムについて検討・決定しました。また、ポスターのデザインや掲示場所、みのおエフエム（タッキー）の活用について意見交換を行いました。

第5回世話人会

第11回の全体会議に向けて、第5回世話人会が開催されました。

「総合計画のあり方など、基礎的な事項」として、「箕面市を取り巻くこれからの10年(案)」、「これからの箕面のまちづくりの進め方(めざす自治・協働の姿)」、「まちづくりの中での、次期総合計画の位置づけ・役割」について、作成を担当した世話人から報告があり、報告内容について意見交換が行われました。その中で、次期の総合計画を、単なる行政の計画ではなく、市民・行政共有の「地域経営計画」としていく方向性が共有されました。

また、第11回全体会議では、各分科会に報告していただき、アドバイザーである阿部さんからご助言をいただくこととしました。

第3回リーダー会議&第6回世話人会

第11回の全体会議に向けて、第3回リーダー会議&第6回世話人会が開催されました。

各分科会のリーダーから、検討状況についての報告がありました。それを受けて、第11回の全体会議のプログラムについて意見交換を行いました。

また、「市民と市民会議との意見交流会」について、以下のような検討項目について検討するとともに、意見交流会の準備のために、追加で全体会議を開催することとしました。



- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| ・ 2時間のプログラム（時間配分） | ・ 広報活動（ポスター、市内活動団体へのダイレクトメールなど） |
| ・ プレゼンテーションの内容と方法 | ・ 当日までの準備の役割分担・体制 |
| ・ 市民との意見交流の方法・工夫 | ・ 全体会のスケジュールの確認（2月21日、3月26日） |
| ・ 当日に配布する資料 | ・ 1月の全体会議での「企画案」の報告担当 |
| ・ 当日の運営の役割分担 | |

引き続いて、「総合計画のあり方など、基礎的な事項」について意見交換を行い、これからのまちづくりの進め方に関連して、「財政がしんどいから協働しないといけないという後ろ向きな考えではいけない」、「みのおらしい市民社会、市民文化を築いていく」、「住民自治・市民自治への転換の早い・遅いで、これからの自治体間で格差が出るのでは」、「財政危機というピンチをチャンスに変えていきたい」などの意見が出されました。

第4回リーダー会議&第7回世話人会

第12回の全体会議に向けて、第4回リーダー会議&第7回世話人会が開催されました。

意見交流会の企画については、チラシ案について意見交換を行うとともに、世話人が担う役割（進行役、基礎的な事項についての発表）についてメイン・サブの担当を決めました。また、次回の全体会議で、当日の役割分担の案について世話人会から提案することとしました。

また、「総合計画のあり方など、基礎的な事項」について、第11回全体会議でのアドバイザーである阿部さんからのご助言を踏まえて、意見交換を行いました。また、3月5日にリーダー会議を開き、意見交流会での発表内容の共有・調整を行うことになりました。

その後、発表内容の組み立てについて意見交換を行い、「第4分科会のストーリー（みのおの今日、みのおの明日）が分かりよい」、「行政への意見だけでなく、市民ができることの提案も必要」などの意見が出され、第12回の全体会議では、第4分科会を例にして、発表内容の組み立て・ストーリーを共有することになりました。

第5回リーダー会議&第8回世話人会

第13回の全体会議に向けて、第5回リーダー会議&第8回世話人会が開催されました。

意見交流会の企画については、ポスターが完成したことの報告がありました。また、会場間での車での移動方法、当日の受付方法、パソコン操作担当など、細かな点も含めて調整・検討が行われました。また、議会へも案内(チラシ)を届けることとなりました。

その後、通しでリハーサルを行い、発表内容の共有・調整を行いました。発表時間が10分を超えてしまった分科会、パワーポイントの文字が読みにくい分科会などがあり、各分科会において調整することになりました。また、発表者が変わっても同様の説明ができるように読み原稿を用意しておくことなど、意見交流会をスムーズに進めていくための細かなアイデアが話し合われました。

第9回世話人会

意見交流会に向けて、第9回世話人会が開催されました。

総論部分となる「箕面のあした」の発表内容について、パワーポイントの内容を1枚1枚確認しながら議論を重ね、発表資料を修正しました。

また、当日の準備・役割分担についての最終の確認を行いました。第14回全体会議のプログラムについては、話し合う時間がとれなかったため、3月23日の意見交流会の終了後に行うことになりました。

広報活動として、みのおエフエムで、4月から「まちのラジオ(仮称)」という番組で月1回情報発信を行うこととなり、第1回の出演者について調整しました。

第10回世話人会

2008年度の活動イメージを固めるため、第10回世話人会が開催されました。

検討に先立って、次期総合計画のあり方のイメージアップを図るため、意見交流会での発表内容に近いイメージの総合計画の事例(滝沢村、板橋区、三田市など)についてコンサルタントから紹介がありました。また、他都市における市民会議の提言書の事例をみて、提言書の構成やアウトプットイメージを共有し、「従来型でない新しい総合計画を作ろう」、「提言書の総論部分には、“新しい自治”、“共助”などの考え方、将来都市像、計画推進の仕組みなどを盛り込む」など意見交換を行いました。

第11回世話人会

全体会議に向けて、第11回世話人会が開催されました。

前回の世話人会での意見交換を踏まえた「提言書の構成イメージ」について意見交換を行い、大きな視点から将来都市像を検討する「検討チーム」を、世話人、分科会リーダー及び有志により組織し、基本構想に相当する部分の提言のたたき台を作成していくことを、次回の全体会議で提案することとなりました。また、分科会での検討については、あらゆる分野を網羅するのではなく、市民会議として重要と考えることについて提言することが再度確認されました。

また、2008年度の活動として、引き続き分科会において多様な意見の吸収に努めるとともに、提言書案ができた段階で、市民会議全体として、より多くの市民に意見を求めることとなりました。また、地域特性については、分科会の検討で考慮していくこととなりました。